

12月の活動

宿泊山行

冬季の宿泊を伴う訓練を行いました。目的山域は三ノ塔です。

今回はテント泊ではなく、秦野市戸川公園の近くにある滝沢園キャンプ場のバンガローに宿泊しました。

12月21日（土） 宿泊



テントよりも暖かく、快適でした。来年は冬の装備がそろうのでテント泊を予定しています。

コメを水に浸している間のスキマ時間を使ってツェルトの使い方を練習しました。ツェルトは山中でビバーク（緊急野営）をするときの道具です。登山では絶対遭難がないように計画を立てて準備を進めますが、万が一のために・・・。



ツェルトは4～5人で1つ使うことができます。



このように頭からすっぽりかぶって暖を取ります。場合によっては隊員の車座の真中にバーナーを置いて湯を沸かすこともできます。



ツェルトの内部の様子です。頭からかぶる設計のため、山中では場合によっては枯葉を集めて絨毯代わりにしたり、レスキューシートを下に敷いて救助を待ちます。しかしながら気密性が高いため、換気にも気を配らなければなりません。

ビバーク訓練が終わったところで炊事の準備が始まりました。



いつもより高級な肉を購入し、部員のテンションが上がりがまくっていました。



今ではすっかりコメを上手に炊くことができます。野外での調理は明かりがないためヘッドライトを点灯しながら作業を進めます。



さて、なにができるのやら。



今回のメニューはビーフシチューとライスです。

レシピ

- ・牛肉（年内最後の宿泊山行なので、少々奮発しました。）
- ・にんじん
- ・たまねぎ
- ・ビーフシチューのルー
- ・コメ

今回は夏合宿の反省を生かし、翌日の調理が短時間で済むようなメニューを選択しました。ちなみに翌朝は前日の残りのビーフシチューを温めなおしたものとパンを食べました。

登山の食事では

- ・調理が簡単
- ・高カロリー摂取
- ・栄養のバランス
- ・(おいしい食事で) 隊員の士気を上げる
- ・ごみを出さない (片づけが簡単)
- ・(夏季は特に) 防腐対策を講じた食材の選択やメニューおよび調理法に留意してみんなが作りたいものを話し合って決定します。



今回はシチューの煮込みに時間がかかり、せっかく炊いたコメが冷めてしまったようです。



暗闇の中での食事を楽しんでいます。



夕方18時過ぎですが、あたりはすっかり暗くなっています。



食事がおわり、後片づけが終わったところでワンゲル恒例のプレゼント交換会の前座がスタート。部員は7並べを楽しんでいます。



7並べの結果をもとにプレゼント交換が始まりました。北陵ワングルでは伝統的に「(部員曰く)しょーもないものをプレゼントにする」という伝統があるようです。



プレゼント交換後の記念撮影。



これもプレゼント交換の景品です。何だかわかりますか？提供者（1年生）曰く「黒曜石です！」。

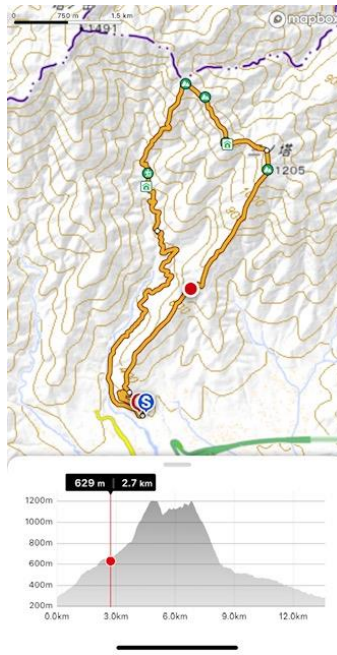
翌日の打ち合わせを行い、8時30分に就寝。明日に備えます。

12月22日（日） 4時起床

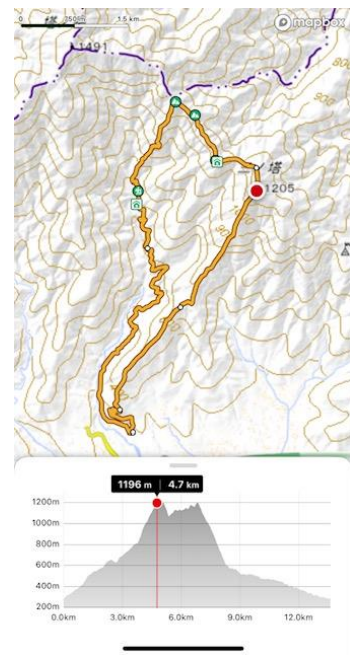
今回のルートは①多方面からの登山客の交差が予想される②鎖場では渋滞が発生するためコースタイムへの影響があることを想定して出発時間を早朝に設定しました。



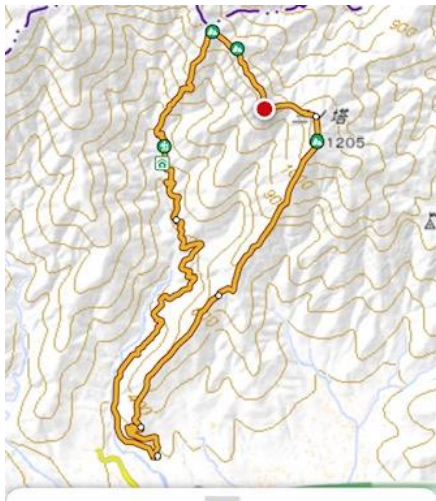
5:20 滝沢園出発



7:00過ぎ 牛首通過



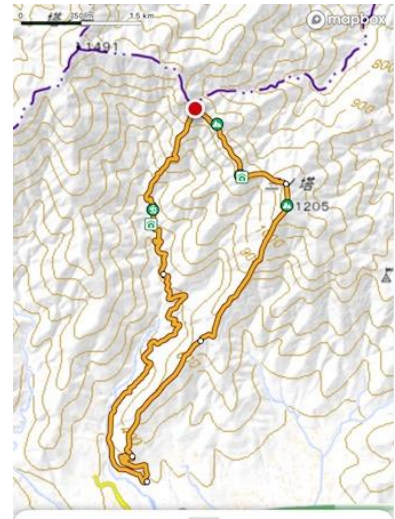
8:20過ぎ 三ノ塔山頂
休憩・コンパス演習で15分滞在



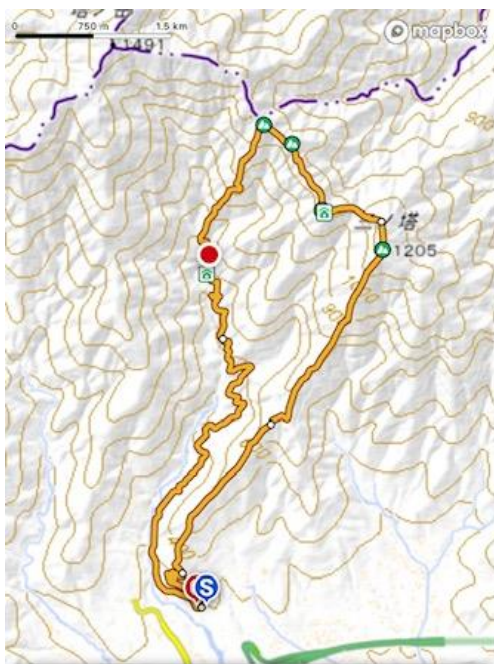
9:15ごろ 鳥尾山
トイレ休憩



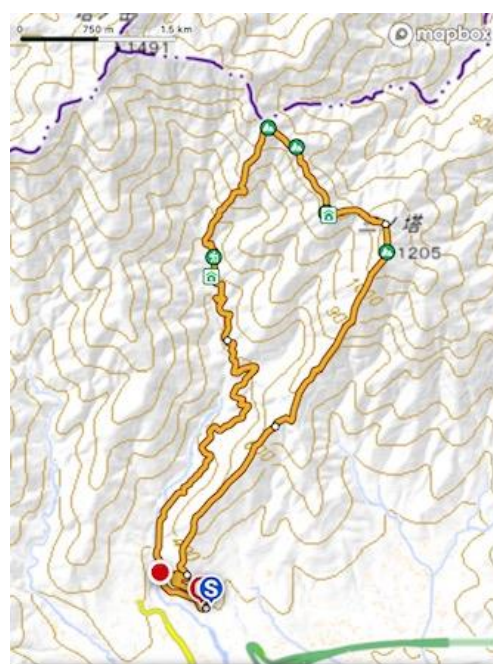
10:10ごろ 行者ヶ岳
この先の鎖場が渋滞ポイント



10:45 政次郎ノ頭
30分昼食タイム



12:00過ぎ 登山口到着
全員無事下山



その後だらだらと90分近く林道を
歩き、13:30ごろ滝沢園帰着。



入山直後。5：40ごろ。朝焼けがきれいです。



朝7：00過ぎ 牛首にて

冬の登山は体温調節が難しく、衣類の脱着の繰り返しです。最初は薄着でも体を動かしていくにつれてだんだん暑くなってきたり、休憩等で立ち止まると急激に体が冷えてきます。この時期の装備品は悩ましいところです。



朝8:30ごろ 三ノ塔山頂にて



三ノ塔山頂からみたヤビツ峠



絶好の登山日和です



標高が同じくらいの大山では朝8時の気温は -3°C の予報でした。寒かった・・・。



ここが行者ヶ岳から政次郎ノ頭に向かうルートにある鎖場です。落差は7～8 mあります。



ここの鎖場は渋滞ポイントです。鎖場は滑落をした時の被害を最小限にするために1人ずつ上り下りします。北陵ワングルは部員数が多いので、渋滞緩和対応としてこのような危険個所に来た時は他の登山者を優先しています。鎖場に関しては引率顧問1名が鎖場の下で下降ルートの指示を行い、他の登山者が来た時の交通整理を行います。残り2名の引率顧問で隊を分散させて生徒を待ち合わせポイントまで引率をします。



先頭から遅れること15分で全員が政次郎ノ頭に集合し、昼食。その後無事下山。

【感想：原文ママ】

- ・色々辛いこともあったけど、振り返ってみるとやっぱり行って良かったなと思った。楽しかったです。めちゃめちゃ（1年生部員）
- ・普段は買わない高いお肉を使ってビーフシチューを作ってみて匂いだけでご飯が食べられそうでした。また食べたい。（2年生部員）